

## V. 特記事項

### 1. 大学スポーツを通じた運動部学生の人間力向上と地域貢献

- 本学は、公認団体の中で「体育会系強化指定部」として、サッカー部、硬式野球部、駅伝部、テニス部、空手道部、アーチェリー部、ソフトテニス部、ゴルフ部、バレーボール部の9競技13団体が指定され、381人（2024.5.1現在）の学生が所属している。本学はスポーツ庁が推進している「大学スポーツの振興」に賛同し、令和元(2019)年に「スポーツ・アドミニストレーター」を設置するとともに、令和2(2020)年にこれらの強化指定部及び体育会系運動部の「大学スポーツ支援・振興」、スポーツ系学生に対する「競技力向上支援」、「人材育成支援」、さらに「地域スポーツ振興活動支援」や他の学外機関との連携による「地域貢献」を主たる目的とした「スポーツ支援・振興室」を設置し、令和3(2021)年には教職協働組織として「スポーツサポートセンター」を整備した。
- 令和元(2019)年に本学は一般社団法人大学スポーツ協会（以下「UNIVAS」という）に加盟し、運動部学生の将来的なキャリアを考え、「人間力の向上を支援する学びの充実」、「安全安心な環境の確立」、「大学スポーツの認知拡大」の充実を目指した。また令和5(2023)年には UNIVAS 安全安心ガイドラインの認証評価基準を満たし、UNIVAS 加盟大学の「UNIVAS SSC」の認定を受けて、「スポーツサポートセンター」は定期的に強化指定部指導者と関係部局（学生課、入試募集センター、キャリアセンター、スポーツ支援・振興室等）と情報交換を行い、活動の振興・支援等について協議している。
- スポーツ庁の公募事業では、令和元(2019)年度「大学スポーツ振興の推進事業」、令和2(2020)年度「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツ・アドミニストレーター設置支援事業」、令和6(2024)年度「感動する大学スポーツ総合支援事業：事業②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業、事業③大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」に採択された。これらの事業（学生サポート、講座・セミナー、イベント等）では、学生を含めた外部の参加者が事業②で533人、事業③で1,751人、延べ2,284人あった。また、事業②では、昨今の「中学校部活動の地域移行」に伴い、佐世保市内・東彼杵町の中学校に41人の学生（主に本学の授業科目「地域連携活動」履修生）が「指導者アシスタント」として派遣され、謝金・交通費等の支援を実施し、中学校の部活動の指導を行い、地域の課題である外部指導者の育成及び資質向上について産学官連携にて実施するだけでなく、スポーツを通じた人間力の向上に資する教育機会を得ることが出来た。また、学生・教職員が主体となり大学近隣の子ども達や保護者が参加する「NIU キッズキャンパス&スポーツフェスタ」を開催している。これらの事業の評価については、本学と連携している地方公共団体、企業が参加した「連携連絡会議」にて事業報告を行い、外部評価（21団体による5段階評価）では、事業②は3.44、事業③は3.63の評価を得た。また、今年の1月には「NIU スポーツアワード」を実施し、主に強化指定部の新人賞、サポーターングスタッフ賞、戦績、勉学（GPA）、地域スポーツ振興活動に対し、個人・団体に表彰を行った。
- 令和7(2025)年3月にはこれらのことが評価され、UNIVASより「UNIVAS AWARDS 2024-25」において、「大学スポーツ組織運営優秀取組賞」を受賞した。今後も、本学は強化指定部の学生を支援し、競技力向上だけでなく人間力向上と地域スポーツ振興活動にも積極的に貢献したいと考えている。